

長、大学医学部長・医科大学長、大学付属研究所長(医系)、その他研究所長に依頼、七月上旬に推薦を締切る。被推薦者は日本医師会員に限る。

八 移 転

日本医学会は、下記のとおり平成二年二月に移転した。

日本医学会

〒一一三 東京都文京区本駒込二二八―一六

日本医師会内 電話〇三一九四六一二二二(代表)

FAX〇三一九四六一六二九五

アーユルヴェーダ研究会

第一二回研究総会

インドの数千年の伝統医学であるアーユルヴェーダは、現在もインドの数億の人々の健康の維持と病気の治療におおいに貢献しており、西洋医学の立場からも見直しが盛んに行われている。そこで日本で実際にアーユルヴェーダによる診療にたずさわっている医師にその効果を披露してもらおう。

と き 一九九〇年九月二十九日(土)、三十日(日)

ところ 神奈川県医師会館四階大ホール

(JR・東横線 桜木町駅下車、徒歩7分)

九月二十九日(土)

招待講演 一〇時〜一二時

ヨーガ療法 K・N・ウドウバ

(ベナレス・ヒンドウ大学名誉教授)

特別講演 一五時〜一五時五〇分

インド料理とアーユルヴェーダ レヌ・アロラ

(インド料理研究サークル主宰・日印協会参与)

特別講演 一六時〜一六時五〇分

漢方とアーユルヴェーダ 大塚恭男

(北里研究所附属東洋医学総合研究所長)

九月三十日(日)

シンポジウム 九時〜一二時

テーマ アーユルヴェーダの具現化

シンポジスト

木村慧心(理想教本部教会)

ヨーガについて

U・K・クリシュナ(ウドウビ・アーユルヴェーダ大学)

アーユルヴェーダにおける片麻痺の治療について(アグニチ

キツア)

児玉和夫(北里研究所BIセンター治療学研究室)

脈診を中心にして

幡井 勉(ハタイクリニック)

アーユルヴェーダによる糖尿病の治療

藤森 弘(柏花診療所)

「和讀」化について

ランチタイム 一二時〜一三時

会員一般研究発表 一三時～一五時

懇親会のお知らせ

九月二十九日(土) 一八～二〇時 ホテルコスモ横浜 八千円

参加費 会員五、〇〇〇円、当日会員 一日三、〇〇〇円

主催 アーユルヴェーダ研究会第一二回研究総会事務局

会長 杉田暉道

〒二三一 横浜市中区日本大通五八番地 神奈川県予防医

学協会 産業保健部医局内

電話 〇四五―六四一―八五〇一(代)

〇四五―六四一―三六四九(直通)

FAX 〇四五―六四一―六一四〇

東京での問い合わせ先

〇三―七九三―七一二一

アーユルヴェーダ研究会

日本医史学会関西支部

一九九〇(平成二)年春季大会

京都医学史研究会共催

六月十日(日)

京都市左京区吉田河原町一五―九

京大会館

プロگرام

開会のことば……………長門谷洋治

一 京都府療病院の医師たち……………藤田 俊夫(京都市)

(1) 江阪秀三郎

二 免疫病理学の先駆者馬杉復三

(一八九六～一九四七)の生涯と滋賀県……………友吉 唯夫(滋賀医大)

三 説文にみる歯学概論と疑問……………杉本 茂春(大阪市)

四 歴史の中における皇帝と医学

―唐の太宗について―……………山本 徳子(横浜市大)

五 芫菁(カンタリス)考……………宗田 一(京都市)

六 『和蘭医事問答』の原本『瘍医問答』について……………中山 沃(岡山生理大)

七 桑田立齋の上申書および牛痘絵をめぐって……………正橋 剛二(富山市)

八 天保飢饉時伊勢地方の救荒食品について……………篠原 治道(富山医大)

九 松村矩明訳述・高木玄真編撰『解剖摘要図』について……………茅原 弘(津市)

一〇 軍医総監林研海について……………岩治 勇一(大野市)

二 小石第二郎の新潟県下温泉調査について―新潟県下温泉舎

密場試験表……………浦原 宏(新潟市)

三 京都医学図書館の設立と現状……………寺畑 喜朔(金沢医大)

三 山口玄洞の業績について……………江川 義雄(廿日市市)